

【 記 入 例 】

様式 1

県立高等技術専門校用求人票

求 人 者	事業所名 (または氏名)	(ふりがな) みやぎでんしきかいこうぎょう 宮城電子機械工業 株式会社				
	所在地	〒 (9 8 3 - 1 1 5 1) 仙台市宮城野区田子 〇-〇-〇 (仙石) 線 (福田町) 駅から・バス・徒歩 (6) 分				
	就業場所 (現場・店)	〒 (-) 同 上 () 線 () 駅から・バス・徒歩 () 分				
	生産品目 事業内容	通信機器の製造、販売				
	従業員数(常用)	本社 50 人 (男 35 人) (女 15 人) 企業全体 352 人 (男 117 人) (女 235 人)	略図 もよりの 駅・バス停 から徒歩 (6) 分			
	創業	昭和 30 年	資本金	1,000 万円		
	労働組合	有・無	就業規則	有・無		
	就業時間	午前 8 時 30 分～午後 5 時 00 分 変形時間労働制 有 (無)				
	休憩時間	午前 5 分・昼 45 分・午後 10 分・計 60 分				
	交替制	有 (① 時 分～ 時 分 ② 時 分～ 時 分) 無 (③ 時 分～ 時 分)				
就 業 時 間 ・ 休 日 等	残業	有 (月平均 10 日位で 15 時間位)・無				
	休日	日曜・祝日・土曜 曜日・月 回				
	週休 2 日制	有 (完全・隔週・その他 ())・無				
	有給休暇	入社時 0 日・6ヶ月後 10 日・最高 6 年 6 ヶ月後 20 日				
	3 賃 金 (確 定 ・ 現 行 賃 金)	定額的に支払われる賃金	賃金から控除するもの	支給日 締切日	25 日 月末日	
基本給 195,000 円		税金 3,700 円	賃金形態	月給		
(日給のとき 日で換算)		社会保険料 29,750 円		日給		
地域手当 5,000 円		寄 宿 費 円		日給月給		
手当 円		食 費 (食分) 円		時給		
① 合計		通勤 200,000 円	② 控除額	通勤 33,450 円	手取額	通勤 166,550 円
特別に支払われる手当		新規学卒者の昨年度実績				
全額		年 2 回				
通勤手当 定額 (最高 30,000 円まで)		合計 3 ヶ月分				
資格手当 5,000 円		一般労働者の昨年度実績				
手当 円	年 2 回					
定期昇給	年 1 回・合計 5,500 円	退職金	有 (最低資格 3 年)・無			
21 求 人 票 の 用 紙 (要 求 書 の 添 付)	高等技術専門校	公共職業安定所	名 称 申込人数	名 称 申込人数		

県立高等技術専門校用求人票記入要領

記入に当たっては、以下の点に注意願います。

- 求人票は、職種別に作成願います。
- 求人票は、2部作成願います。(2部にうち、1部コピー可。)

1 就 業 場 所 (現 場 ・ 店)	県立高等技術専門校修了者が実際に働く場所(支店、営業所、工場名等)を記入する。多数の場合は、「16補足事項」の欄に記入する。
	【転勤の可能性】の有無についても「16補足事項」の欄に記入する。
生産品目 事業内容	業務形態を具体的に記入する。 製造業→自動車部品製造業、婦人服縫製業等。 小売業→医薬品小売業等
従業員数 (常用)	求人が、営業所、出張所、工場等の単位で行われる場合には、その営業所等の常用労働者数を「当事業所」欄に、全体の常用労働者数を「企業全体」欄にそれぞれ記入する。
略 図	就業場所を最寄りの駅、バス停留所等からの道順で記入する。
2 就 業 時 間 ・ 休 日 等	就業時間
	交替制
	休日
	有給休暇
	就業時間
就業時間	2部制又は時差出勤の場合は、24時間制の表示で記入する。特殊な勤務態勢の場合は、「16補足事項」の欄に記入する。
休日	休日の曜日を○で囲む。 日曜日、祝日、土曜日以外が休日の場合で、曜日が一定の場合は、その曜日を記入する。不定の場合は、右余白に週休交替制等と記入する。 年末年始や夏期盆休み等で特別に休日とする場合は、「16補足事項」の欄に記入する。
有給休暇	入社時に有給休暇を与える場合は、その日数を記入する。「6ヶ月後」、「6年6ヶ月後」については、労働基準法第39条に基づく有給休暇の最大の日数を記入する。
3 賃 金 (確 定 ・ 現 行 賃 金)	賃 金
	賃 金
	賃 金
	賃 金
	賃 金
賃 金	就職後に支払う初任給の確定額を記入する。 初任給の確定額の記入が難しい場合は、今年3月に卒業し就職した者に現在支払っている賃金の額を記入する。 なお、「3賃金(確定・現行賃金)」の欄の不要な文字を一線等で抹消する。 初めて県立高等技術専門校修了者を採用する場合には、確実に支払う賃金の額を記入する。
賃 金	定期的・に支払われる賃金
賃 金	「基本給」の欄には、月給を記入する。日給の場合は、賃金計算の基礎となる換算日数により算出した月額を記入する。 「手当」の欄には、地域手当や物価手当、食事手当等の全員に支給される手当を記入する。 「①合計」の欄は、基本給・手当の合計額を「通勤」「住込」別に記入する。
賃 金	賃金から控除するもの
賃 金	「①合計」の欄の額を基に算出した税金の額、雇用保険料も含んだ社会保険料の額、食費・宿舍費等の住込費用を記入し、その合計額は、「②控除額合計」の欄に記入する。
賃 金	特別に支払われる手当
賃 金	通常の勤務以外の勤務に支払われる手当、例えば、資格手当、職務手当、時間外手当などについて、その手当名称と金額を記入する。
賃 金	定期昇給
賃 金	昨年4月に採用した者の今年4月1日までに昇給した回数とその昇給した金額を記入する。 定期昇給制度はあるものの、ベースアップに含まれている場合は、下余白等に「ベースアップを含む」と記入する。
賃 金	賞 与
賃 金	昨年4月から今年3月までに賞与を支払った回数、月分を記入する。 「新規学卒者の昨年度実績」の欄には、昨年3月に高校を卒業し、昨年4月に採用した者に支払った実績を記入する。 「一般労働者の昨年度実績」の欄には、新規学卒者以外の一般労働者に支払った実績を記入する。

様式 1

県立高等技術専門校用求人票

4	職 種	精密金属加工	5	求 人 数	(通勤) 3 人 (往込) 人 (不問) 人
6	年 齢	18 歳～ 歳(位)	7	必要とする履修課程・科目	
8	学 歴	高 卒以上	9	必要な経験免許・資格等	普通自動車運転免許(AT限定可)
10雇用の期間の定め		(無) ・ 有 ()			
11	仕事の内容 精密機械部品の設計・製作 (NC旋盤、マシニングセンタなど) 【職務の変更範囲】会社内での各種業務 作業遂行上特に必要な知識又は技能 求人条件にかかる特記事項				
12	加 入 保 険 等	健康 厚生 ・ 雇用 ・ 労災 ・ 退職金共済 ・ 財形			
13 福 利 厚 生 等	宿 舎	有 (独立の宿舎 (有・無) 入居 (可・否) 1部屋 人 1人当り 量) (無) 勤務先までの時間 分			
	給 食	有 (朝 ・ 昼 ・ 夕) ・ (無) 休日の給食 有 (朝 ・ 昼 ・ 夕) ・ (無)			
	定 年 制	有 (65 歳) ・ 無			
14	通 学	可 (時間配慮 有 (資金支払 有 ・ 無) ・ 経 通学時間 分) (否) 学校名 通学費用の企業負担 有 (入学金 ・ 教科書代 ・ 授業料月額 円 交通費) ・ (無)			
15 雇 傭 ・ 志 者	説 明 会	日時 場所 随時開催します。			
	応募書類	履歴書 写真貼付書 ・ その他 ()			
	受 付 期 間	月 日 ～ 月 日 9 月 5 日 以降随時 選 考 月 日 月 日 9 月 5 日 以降随時			
	選 考 場 所	本社 5 階 会議室			
	選 考 方 法	学科試験 (一般常識) ・ 国 ・ 数 ・ 社 ・ 英 ・ その他 () 作文 () 面接 ・ 適性検査 ・ その他 ()			
16 採 用 決 定	採 否 決 定	月 日 7 日後 選 考 旅 費 (有) ・ 無			
17	入 社 日	2026 年 4 月 1 日 赴 任 旅 費 (有) ・ 無			
18	(事業所の特色、労働条件、福利厚生施設など) 【転勤の可能性】あり：本社及び白石市・大崎市・石巻市の各営業所・工場 1. 当社は、△△製作所の100%出資会社である。 2. 夏休み8月15～20日、年末年始休み12月29日～1月4日 3. 年間休日数 125日				
19	採用事務担当者	総務 部 人事 課 (役職) 人事課長 氏名 仙台太郎 電話 022 (211) 2111 内線 2762 FAX 022 (211) 2112			
20	事業所名	宮城電子機械工業 株式会社			
21	代表者名	代表取締役社長 宮城太郎 (印)			
22	19 事業所希望通称号	0401	20 前 期	〇〇 年3月修了	〇〇 年3月修了
23	-109999-9	兄弟姉妹	応募者数	8	8
24		採用者数	4	4	4
25		離職者数	1	0	1
26	特 記 事 項	会社説明会、工場見学会を随時開催します。応募前の見学をおすすめします。 インターンシップ受入れ可能。ご連絡をお待ちしております。 ※受動喫煙対策：社内禁煙			
27	受 付 年 月 日	年 月 日	受 付 者		

県立高等技術専門校用求人票記入要領

4	職 種	従事する仕事の内容を具体的に示す名称を記入する。 (記入例)テレビ部品組立工、自動車組立工、経理事務員 等 具体的に示すことが難しい場合、包括的な職種名、例えば、事務職、 現業職等と記入する。
5	求 人 数	県立高等技術専門校修了者を採用する人数を記入する。
7	必要とする履 修 課 程 ・ 科 目	職種上、特に必要な履修科目等がある場合には、記入する。
10	雇 用 の 期 間 の 定 め	常用の場合は、「無」を○で囲む。季節雇用の場合は、「有」を○で囲 み、()内に期間を「○月○日～○月○日」等と記入する。 欄内に書ききれない場合は、「16補足事項」の欄に記入する。
11	仕 事 の 内 容	県立高等技術専門校修了者が採用された際の仕事の内容や将来 どのような仕事をするのか具体的に記入する。 主な施設(機械名等)も具体的に記入する。 【職務の変更範囲】の有無について記入する。当初配属の業務から 他の業務へ変更がある場合。ない場合は無しと記入。
職務 内容 等	作業遂行上特に必要 な知識又は技能	職種上、特に必要な履修科目等があれば、記入する。
	求人条件にか かる 特 記 事 項	求人条件に関して必要な特記事項を記入する。 従事するにあたり身体上困難を伴うことがある場合は、その業務内容 を詳細に記入する。
12	加 入 保 険 等	加入している保険を○で囲む。
福利 厚生 等	宿 舎	「独立の宿舍」とは、職員用として建てた宿舍を意味する。 「(専用の)部屋」とは、職員用として共同で使用する部屋で作業場と 兼用になっていないものを意味する。
	定 年 制	定年制の有無とその年齢を記入する。
13	通 学	夜間大学や定時制高校への通学の可・否を記入し、時間配慮がある 場合は、その時間と資金支払いの有無を記入する。
14	受 付 期 間	別に定める。
応募 ・ 選考	選 考 方 法	選考方法の具体的な名称を空白に記入する。欄内に書ききれない場 合は、「16補足事項」の欄に記入する。
15	入 社 日	県立高等技術専門校修了者の入社日は、修了日の翌日以降を記入 する。
赴 任	赴 任 旅 費	採用後の赴任は、求人者の引率としてください。 なお、単独赴任とする場合は、保護者引率とするともに、旅費も 支給願います。
16	(事 業 所 の 特 労働条件、福利 厚生施設など)	各記入欄で補足事項があれば、この欄に記入する。 例えば、 ○ 会社概要(求人者、営業所、出張所、工場等の単位で行わ れる場合には、本社の所在地・従業員数等。) ○ 支店等がある場合には、その所在地・各支店の採用数・察の有無 ○ 借上社宅制度など福利厚生への補足説明 ○ 【転勤の可能性】については必ず記入願います。
17	採用事務担当 者	人事採用担当部門名及び担当責任者の役職名と氏名を記入する。
18	事 業 所 名 代 表 者 名	事業所名及び代表者名を記入する。
19	雇 用 保 険 適 用 事 業 所 番 号	雇用保険に加入している場合、その雇用保険適用事業所番号を記入 する。
20	離 職 状 況	県立高等技術専門校を一昨年3月に修了した者、昨年3月に修了し た者、今年3月に修了した者の区分毎に離職状況を記入する。 (上段)応募者数: 各年における新規県立高等技術専門校修了者(男 女合計)の応募者数を記入する。 (中段)採用者数: 各年における新規県立高等技術専門校修了者(男 女合計)の採用者数を記入する。 (下段)離職者数: 中段に記入した採用者のうち今年3月末現在で、そ れぞれ何名離職しているかを記入する。

受 付 年 月 日	年 月 日	扱 番	
-----------	-------	-----	--